

前へ、もっと、前へ。
ICHINEN GROUP



ふえろ〜

イチネン
グループ

総合情報誌

第95号

2012年4月1日発行(季刊)

編集

株式会社イチネンホールディングス

社長室

http://www.ichinenhd.co.jp

イチネンB.P.プラネット株式会社 代表取締役社長就任に際して



イチネンB.P.プラネット株式会社
代表取締役社長 柿原 伸行

「ふえろ〜」ご愛読の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

2012年4月1日より岡野前社長のあとを受けて、イチネンB.P.プラネット株式会社(I.B.P.P.)の代表取締役に就任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、弊社は2007年4月の事業開始からイチネングループおよびパートナー工場様の協力により、お客様の新たなニーズを喚起し順調に事業を拡大しております。

新体制となる今年度は更に躍進するため、左記のビジョンを掲げ、また、当社商品の特徴を活かしてイチネングループのコア事業となるべく鋭意推進して参ります。

□ビジョン

【お客様の声に期待以上の価値で応え、満足と感動を提供します】

1. 心地良さ
お客様に心地良さを提供できる接客サービスを実現します。
2. 自立と挑戦
社員が自立して新しいことに挑戦できる職場環境を実現します。
3. 一体感
パートナーとより一体感が感じられる関係を実現します。
4. 社会貢献
「環境にやさしい」を事業活動の基本として継続し、CO2の排出量削減を目指します。

これは『会社がどうあるべきか、個人がどうありたいか』ということ社員全員が考え、その声を上記4つにグループングしました。社員自らの声を全員で実現することにより着実にビジョンを実現して参ります。

□当社商品の特徴

1. 管理業務の一元化
I.B.P.P.に修理を集約する事による管理業務の軽減が図れます。また、情報を集約することにより、車両保険未加入であってもI.B.P.P.で修理内容分析が可能となります。
 2. コスト削減
損害調査人(当社正社員)による詳細な見積精査機能によって、適正でクリーンな見積が実現します。さらに約定値引率適用と優良部品利用によるコスト削減効果をご提供します。
 3. 修理時代車の提供
修理時代車の提供と引き取り納車無料サービスにより、車両使用部門の利便性の向上が図れます。
 4. 環境対応商品
鍍金修理を優先します。部品交換でしか対応できない場合は、リサイクルパーツの積極活用を行い、新たな資源の浪費を抑えることにより、CO2の排出量削減を行います。
- 当社はイチネングループの強み

と上記商品特性を活かし、法人の管理契約台数・契約先数・年間修理台数を中期3ヶ年で倍増させます。企業が抱える問題に新しい切り口で提案活動を推進し、特に関東エリアにおいて営業活動を強化し目標を達成して参ります。

また、一般個人からの受注拡大にチャレンジするためにwebサイトをリニューアルします。同時に個人の方の目に触れる機会を増やすために、広告施策を強化しwebショップピングモールへの出店も検討しております。

新しいwebサイトはイチネングループの信頼感を基本に、使いやすく親しみやすいサイトにする予定です。

例えば、サイト上で簡易見積りができるようにし、スマートフォンで損傷画像を撮影し、そのままスマートフォンから見積り依頼ができるようにする予定です。個人の方の利便性を高めることにより当社の評価を高め、修理案件を増やしてまいります。同時に、法人のお客様にwebサイトから作業進捗状況を確認できる機能も追加し、法人のお客様の利便性も同時に高めてまいります。

事業を拡大するための基礎をなすのがサービス品質です。パートナーである提携工場を年10社程度増設して提携工場の少ないエリアを拡充させていきます。既存パートナー工場はサービスレベルアップの向上を促進することにより、量と質の両面からサービスネットの拡充を行います。

さらにパートナー工場様との連携強化を図りながら、より一層高いレベルのお客様対応品質を作り上げます。

最後に「ふえろ〜」ご愛読者の皆様には更なるご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

ナノバランステクノロジーで、低燃費タイヤはかつてない次元へ。

日本初!*低燃費グレード「AAA-b」を実現。

NANOENERGY T^{NEW}

ナノエナジー・ワン

TOYO TIRES
driven to perform



このナノエネルギーワンは、タイヤ業界に先駆けて法人向けに開発されたタイヤです。JATMAIが業界最高水準として認定し、私が信頼できるタイヤとして認定されたこと、燃費ももちろん一定水準をクリアし「低燃費タイヤ」として認定されたこと、品質ももちろん、最新の技術を用いた「ナノバランステクノロジー」の採用が期待されるものです。

燃費UP
グリップ力UP
ウェット
グリップ力UP

「環境格付私募債」

(株)イチネンホールディングス

経理財務部財務課 丸岡 敦史

(株)イチネンでは、2012年3月にDBJ証券が取り扱う、全国第一号案件となる環境格付私募債を発行致しました。DBJ証券は、日本政策投資銀行の連結子会社で、私募ファンドの投資家を募る業務を担っています。日本政策投資銀行による私募債の取り扱いについては、以前は他の証券会社に委託していましたが、一貫したサービスの提供を目的に証券会社を連結子会社化し、当社が初めての案件となりました。

環境格付私募債とは、当社が4年連続で取得している、企業の環境への取り組み度合いを評価する日本政策投資銀行の環境格付のランクを利用して発行する私募債です。ランクに応じて利率が優遇されること、投資家から直接資金を調達出来ることにより資金調達手段の多様化が図れます。

また、償還までの間、年に1度発行される環境経営度に関するレポートを通じて、地球環境保全と持続可能な発展を常に念頭において事業活動を行う当社の環境への取り組みを、出資者である投資家へ継続的にPRしていきたいと考えています。

「清掃活動を実施しました」

(株)イチネンホールディングス

経理財務部財務課 田中 佐季

3月16日(金曜日)午前8時半より約30分間、ISO事務局が中心となり、本社周辺の清掃活動を行いました。当日は寒い中、ISO事務局メンバーと有志の方にご参加頂きました。



いつも通っている道路も一見するとほとんどゴミも落ちていないように見えるのですが、私自身もISO事務局メンバーとして清掃活動に参加してみて、タバコの吸い殻や空き缶など、普段見えていないだけで多くのゴミが落ちていると感じました。

当社では、2012年3月期に日本政策投資銀行の環境格付にて格付が上がりましたが、このような地道な活動も良い評価を頂けた要因の1つになっていると思います。

ISO事務局では、今後は年に1回だけではなく、定期的に清掃活動を行っていかうと計画しておりますので、ぜひご参加、ご協力をお願い致します。

『事業紹介』

イチネンパーキング駐車場管理受託事業

株式会社イチネンパーキング 代表取締役社長 黒田 和伸

「ふえろ」ご愛読の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。

大阪府の基幹総合病院として、救命救急医療や高度専門医療などを提供する大阪府立・急性期総合医療センター(768床)内に弊社が建設した162台収容の3階建自走式立体駐車場が2011年10月にオープンいたしました。

同事業は、同センターの慢性的な駐車場不足の解消による来院者様へのサービス向上を目的に、「お客様(病院)に投資等のご負担をかけずに立体駐車場を建設整備する」というコンセプトで、敷地内にある稼働中の平面駐車場を含めた管理運営業務を受託する内容でした。

平面利用の駐車場を立体化することにより、収容台数は100台増の438台となり、来院者様・駐車場利用者様の駐車待ち時間および、それに起因する地域の交通渋滞が解消され、利便性とサービス向上につながったと確信しております。

駐車場の運営管理面におきましては、機械管理と有人管理を組み合わせることににより「安全で安心」な、最適な駐車場管理を実現し、来院者様との接遇面におきましては、自動車の誘導、施設の案内、お体の不自由な方への介助など、全ての人に優しく親切でハートフルな対応を心がけ、来院者様・駐車場利用者様の利便性を今以上に高めることができると努めています。

続いて、大阪府立母子保健総合医療センターにおきましても同様の目的で事業化が決定し、現在219台収容の3階建自走式立体駐車場を建築中で、7月20日完成の予定であります。また、国立大学法人東京医科歯科大学におきましても駐車場整備事業の入札に参加し本年

3月14日、優先交渉権を獲得することができました。同事業は、303台収容の4階建自走式立体駐車場を建設整備する条件で運営管理を受託する内容であります。

いずれの事業も、総合病院における慢性的な駐車場不足を解消する社会性の高い事業であり、今後弊社では同事業を「コインパーキング事業」、「病院・商業施設駐車場の管理受託事業」に次ぐ第三の柱として育成し、全国の総合病院の駐車場不足を解消することにより交通渋滞及び交通渋滞に起因する事故の撲滅をテーマとした社会性の高い事業に積極的に参画し、駐車場開発整備による社会貢献に取り組みでいきたいと考えております。

今後とも皆様からの倍旧のご指導、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



日本経済を活性化するライフスタイル・インベージョン 〜企業と個人の有機的成長戦略〜

『ポジティブ・オフ シンポジウム』に 黒田雅史がパネラーとして参加いたしました。

㈱イチネンホールディングス 社長室 花岡 美也

観光庁が、内閣府、厚生労働省、経済産業省と共同して提唱・推進している「※1ポジティブ・オフ」運動のシンポジウムが東京と大阪で開催されました。

3月1日(木)に大阪(梅田スカイビル)で開催されたシンポジウムには㈱イチネンホールディングス 代表取締役社長 黒田雅史がパネラーとして参加し、当社グループの取り組み、9連続休暇取得の推進によるワークライフバランスの実現並びに業務効率についてのお話をさせて頂きました。

連続休暇制度は、他社でも導入されていますが、当社では社長自らも休暇やワークライフ・バランスの推進を行っていることが観光庁より高く評価されパネラーとして参加させて頂くこととなりました。また当社の取り組みは157社の賛同企業の中より日本経済新聞への掲載のほか、ポジティブ・オフが運営される「eBookファンページ」でも取り組み内容を紹介して頂きました。

シンポジウムでは連続休暇を取得することは、1、『業務改善』2、『リスクの分散』3、『心身のリフレッシュ』に



繋がること、また連続休暇を推進させるため、役員・管理職から率先して休暇を取得するよう呼び掛け続けた経緯をスライドを通して分かり易く説明致しました。参加された皆様には当社の取り組みをご理解頂き、たくさんの拍手を頂戴いたしました。

- 1.業務改善となる
- ・長期休暇を取得することで、普段の業務効率を見直す良い機会になる。
- ・本当に必要な業務であるかを考え直す良い機会となる。
- ・残業の削減となる。2010年10月6日9時〜2011年9月4日3時59分(264時間削減)

- 2.リスクの分散
- ・担当業務の偏りをなくし、複数の社員でカバーしあえるような体制づくり。
- 3.心身ともにリフレッシュ
- ・長期休暇を取得することで心身のリフレッシュはもちろん、普段の休暇では行けない旅行先での出来事や家族とゆっくり過ごせる時間を通じ、その体験を仕事に繋げることも重要。

※1「ポジティブ・オフ」運動とは、休暇を取得して外出や旅行などを楽しむことを積極的に促進し、休暇(オフ)を前向き(ポジティブ)にとらえて楽しむという運動です。休暇を取得しやすい職場環境や雰囲気をととのえていくこと、それをベースとした外出・旅行を通じて経済活性化に貢献すること、長

期的にワークライフ・バランスの実現や休暇を楽しむライフスタイルなどの「ライフスタイル・インベージョン」につなげていくことを目的として、内閣府、厚生労働省、経済産業省と共同して提唱・推進しています。

『ポジティブ・オフでイクメンしよう』 ファザリング全国フォーラムin滋賀に参加致しました。

㈱イチネンホールディングス

管理第一統括部 人事総務部 人事教育課 課長 山田 裕士

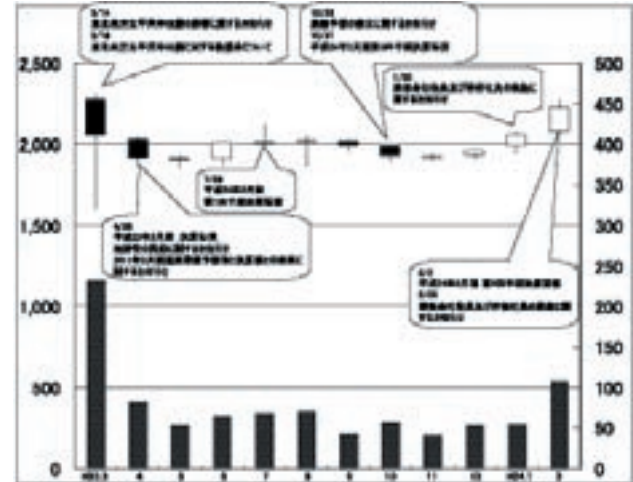
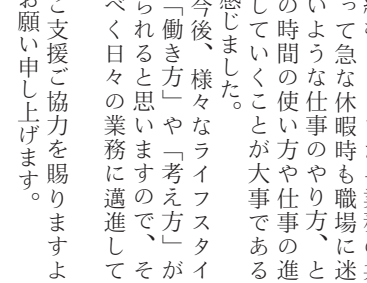
育児を積極的に率先して行う男性、育児を楽しむ男性のことを「イクメン」と呼び、2012年2月18日(土)「ファザリング全国フォーラムinしが」という「イクメン支援」を目的としたイベントが大阪プリンスホテル(滋賀県)にて開催され、そのイベント内での分科会として「ポジティブ・オフでイクメンしよう」というテーマのパネルディスカッションに参加して参りました。

当社以外からは、ネスレ日本株式会社、西日本旅客鉄道株式会社のイクメン社員の方、育児関係の専門家、観光庁、人事担当者をお招きして「ポジティブ・オフ」と育児の関係や有効活用事例についてパネルディスカッションを行いました。

当社の子育て支援としては、長期休暇(9連続有給休暇取得)制度、第3子以降は100万円支給する制度等、支援制度もありますが、制度面だけでなく、仕事と育児を両立させるために必要なことは、定時退社に対する取り組みや、子供が急に発病した場合に安心して休暇が取得できるようなことであり、日々のライフスタイルの中で安心して仕事と育児を両立できるような環境ではないかと思えます。

そのためには、「スケジュール管理の徹底」や「仕事の本質を理解すること」等、業務効率を向上させ、できるだけ定時退社を意識して業務に取り組むこと、また「業務の共有化」によって急な休暇時も職場に迷惑をかけないような仕事のやり方、といった1日の時間の使い方や仕事の進め方に工夫していくことが大事であるということを感じました。

最後に、今後、様々なライフスタイルに応じた「働き方」や「考え方」が企業に求められると思いますので、それに対応すべく日々の業務に邁進してまいります。引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



プレスリリース

2012年

1/20 関係会社の役員及び幹部社員の異動に関するお知らせ

2/23 平成24年3月期 第3四半期決算短信 関係会社の役員及び幹部社員の異動に関するお知らせ

株主チャート



わが社のお取引様

リゾートトラスト株式会社

resort trust

リゾートトラスト(株)は、高級会員制リゾートホテル「エクシブ」を経営している会社です。(株)セレクト様は1999年に「エクシブ」の法人会員となり、その後、イチネングループ従業員の皆様に福利厚生施設として利用して頂いています。

当社は、1973年に「より多くの人々により豊かなライフスタイルの提供」をテーマに創業し、1986年に「欧米の一流リゾートに負けないリゾートと余暇文化を充実させたい」との考えで主力商品である高級会員制リゾート「エクシブ」を開発しました。

エクシブは、一室を14人で共有し、年間26泊の利用を保証するタイムシェアリゾートです。「年間を通じて利用が少ない上に維持管理が大変」と敬遠された別荘の需要に代わって、掃除も料理もしなくて良い、また、契約施設以外も交換利用が出来るなど、忙しい日本人のライフスタイルに合ったリゾートとして支持されました。多くのリゾートやゴルフ場が破綻する原因となった預託金制の利用権方式ではなく、共有という分譲方式を採用したことにより、会員の平等な利用保証および高級リゾートの開発と健全な経営を実現しています。

当社は、毎年ほぼ一施設のペースで会員制リゾートを開業しており、昨年3月には(株)セレクト様も契約している「エクシブ有馬離宮」、今年3月は、長野県軽井沢に「エクシブ軽井沢サ

ンクチュアリ・ヴィラムセオ&ゴルフ」「エクシブ軽井沢バセオ&ゴルフ」が開業しました。また、関西屈指の名門ゴルフ場「関西ゴルフ倶楽部」が4月にリニューアルオープンします。

当社のリゾートホテルは、まわりの自然環境や景観に配慮をした設計になっているのも特徴ですが、来館者の非日常の空間を実現するために、それぞれのホテルのコンセプトを差別化しています。3月に開業した「エクシブ軽井沢サンクチュアリ・ヴィラムセオ&ゴルフ」「エクシブ軽井沢バセオ&ゴルフ」は、「美術館」をコンセプトに、軽井沢の環境に溶け込む自然要素をアートとして演出しています。イチネングループの皆様のご利用は(株)セレクト様が窓口となっております。大切なご家族と、或いはご友人と、是非ご利用下さい。

寄稿者 リゾートトラスト株式会社
会員制第3事業部 関 純三朗

【リゾートトラスト株式会社】

- ◆所在地：名古屋市中区東桜2-18-31
- ◆代表者：代表取締役社長 伊藤勝康
- ◆資本金：142億58百万円
(2011年3月末現在)
- ◆従業員数：4,157名(2011年3月末現在)
- ◆取引開始：1999年4月

ふえろ〜提携工場紹介

有限会社 東陽自動車

当社が所在します東根市(ひがしねし)は、山形県の中央部にある人口約4万7千人の市です。市街地は平地部を南北に貫くJR奥羽本線に沿って集積しており、市の南西部には山形空港、中央部には山形新幹線が延伸し、また、高速道路のインターもある大変交通の便がよい街です。主に果樹栽培が盛んで、果樹王国として全国的に知られています。特にサクランボの生産量は日本一です。そのサクランボの主要品種である「佐藤錦(さとうにしき)」は東根生まれということもあり、新幹線が停車する駅の名前が国内でも数少ない特産品に由来する「さくらんぼ東根駅」という名前になっていることでも有名です。また、県内でも周辺市町村などからの移住者を中心に同市への定住者が増えている、県内唯一人口が増加している市でもあります。

わが社は戦後に初代社長 寒河江清三が自動車修理をはじめてから、二代目の昭一、そして三代目の理方と、創業以来約60年にわたり営業をさせて頂いております。わたしたちは、車は単なる移動手段としての道具ではなく、毎日の生活を快適にそして楽しい思い出をたくさん創ってくれる大切なパートナーと考えています。特に、最近ではこちらの地域でも共稼ぎの家庭が増えており、お車を所有する女性ドライバーが多くなっていますので、特に安全で快適な車に整備しています。

また、お客様には、整備後にできるだけ分かりやすく整備修理の内容を説明することを努めています。こちらの地域では、整備時の引取り納車の要望が多いため、なかなかお車の整備前の状態の確認ができません。



いケースがありま。その点、整備前の状態と整備実施工内容、そして整備後の状態をデジタルカメラ写真など利用して説明をする。ことによって、お客様とのコミュニケーションもとれることもあり料金や整備の内容に対するトラブルもありません。小さい取り組みですが、続けていきたいと思っています。

さて、わが社とイチネン様との取引は、最初は数台から始まりました。現在では63台の委託を頂いております。本当にお世話になっております。

リースメンテナンスのお客様とも、心と心のお付き合いを心懸けて丁寧になさせて頂きます。

今後ともご指導よろしくお願ひ申し上げます。

寄稿者
有限会社
東陽自動車
代表取締役社長
寒河江 理方

【有限会社 東陽自動車】

- ◆所在地：山形県東根市温泉町三丁目6-5
- ◆代表者：代表取締役社長 寒河江 理方
- ◆従業員数：7名
- ◆取引開始年月日：1988年10月
- ◆委託台数：63台(2012年2月末日現在)



タフな安心を、あなたに。

あいおいニッセイ同和損保
MS&AD INSURANCE GROUP

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 関西金融公務部金融営業課

〒530-8555 大阪市北区西天満4-15-10 TEL 06-6363-3231

©2012.03